

学年通信

『なかま』

四日市市立三滝中学校
第2学年 第22号
2021.12.24.

『クラス会議』を始めました♪

人権学習（MHT）で学習した水平社宣言を受けて、クラス会議を始めました。たくさんの人と生活するために、みんなが過ごしやすい社会を考えていく必要があります。そのために何が 필요한のかは、メンバーやその時によっても変わること。だからこそ、みんなでコミュニケーションをとり、知恵を出し合って、色々試してみる。できたかどうか振り返りながら、次の課題に移っていく。うまくいくことばかりではないでしょうが、一人ひとりの声を大切に、学級としての解決方法を考えていきましょう。



四中工にて、授業体験をさせていただきました。

1年生の時に三重県人権センターへ行ったきりになっていた、校外学習の一環として、色々な授業を体験させていただきました。5つの学科それぞれの特徴を生かして、授業や学科の紹介、実際にモノづくりなどを体験させていただく中で、これからの進路に関して考えるきっかけとなった生徒も多かったようです。1年後の自分を想像しながら、今後のことを考えましょう。

- ・工業高校に行けば、普通科の高校ではできない技術などを教えてもらえる。コンピュータも、最近では重要になってくる。ただし器用でないと、なかなかできないものがある。
- ・設備システム科は、普段気にせずに使っているものの内側のものが多く、それらのものが普通に使えることが普通じゃないんだと改めて知れた。見えないところですごい考えられていてすごいと思った。
- ・電気科で行っていることは、生きていくために電気が必要なので、なくなることはない。色々な資格も取れるので、就職もしやすい。



2学期が終わります…。

緊急事態宣言下のオンライン授業からスタートした、2学期が終わります。一人一台のタブレットを使いながら、先生たちとしても試行錯誤だったオンライン授業。数年前には考えられなかったことが、少しずつ当たり前になってきました。急速に変化してきた2年間。この変化の中で皆さんはどのように成長してきましたか？

これからの1年間、卒業後の進路に向けて、自分自身の力をつけていかなくてもなりません。そんな時だからこそ、周りともっと、つながっていきましょう。自分がちょっとしんどいなと思ったとき、隣の人に声をかけられたら、何となく軽い気持ちになりませんか。隣の人がちょっとしんどそうだと、気づける人であってください。そして気づいたことを、伝えられる人間関係を築いていきましょう。もちろん、トラブルはありますよ。人間ですから。そんなときに自分の気持ちを伝えられるコミュニケーションの力をつけられるのは、学校しかないと思います。もちろん勉強は頑張ってください。人とつながることでステキな人間関係を作っていける、そんな3学期、そんな3年生にしていきたいと思います。

☆冬休み中も、毎日検温と健康観察を行い、

タブレット等で入力をお願いいたします☆

まだまだ油断はできません。毎日の日課にして、記録として残すようにしていきましょう。 ※始業式の予定は、冬のしおりを見てください。



三者懇談会に来ていただき、ありがとうございました。

保護者の方へ向けて書こうと思います。少し長くなりますが、できるだけ具体例を挙げながら書けたらと思います。

先週はお忙しい中、三者懇談会にご協力いただき、ありがとうございました。来年の今頃は、県立高校の前期選抜及び、私立高校、国立高専等の受験(受検)校決定となります。今年も3年生は懇談会の後、図書室にて願書を記入していました。進路についてのシステムは年々変化しており、兄弟姉妹関係で経験された保護者の方も、以前とは全く違うと思っていいでしょう。私も一部願書点検などのお手伝いをしていました。具体的な変更について…



- ・ 県立高校の願書から、『男女』の記入欄及び保護者の押印がなくなる。
- ・ 私立高校でのオンラインによる出願が増えた。受験方法などは、高校によって全く違う。

これからの進路選択に向けて、どんな選択肢があるのかを、お子さんと一緒に調べてみてください。

進路選択の幅を広げるためには、確かに成績(5段階の評定)は、大きく関わってきます。そうすると、少しでもお子さんの成績がよくなるように…と考えますよね。そのために必要なもっとも重要なポイントの一つが、『**主体的である**』だと考えます。前回の通信でも少し触れました。教科による特性があるとは思いますが、私は理科教師なので、理科の授業での様子を中心に紹介します。

理科の評価の中で、「思考・判断・表現」の観点はどうしたらいいか(評価が上がるか)という声がありました。確かに、苦手としている人が多い印象はあります。評価材料として、定期テストが大きな割合を占めているのは事実です。ではこの観点を力を、どのようにつけていけばいいのでしょうか。

「答えをどう書いていいかわからない」という生徒がいます。もちろん教師としては、「こう書いたらいいよ」と教えることはできます。しかしながらそれで書いた答えは「知識」であって、考えて出した答えではないですね。

だからこそ、「考えようとする気持ち」が大切です。これが、『主体的である』と表現できるのだと思います。例えば授業の中で教師が、「この理由を考えてみよう」と指示しました。私は指示の中で、解決するために最善の方法をとるように促します。教科書を読むだけの人もいれば、周りの生徒と話し合っ解決に向かう人もいます。ある程度時間が経ってから、教師が指名して答えるように指示すると、その時に初めて周りの生徒に「何？何？」と聞き始める子がいるわけです。そして周りの生徒に助けられて答える。これって、『主体的に』課題を解決しようとしていたのでしょうか。もしかしたらこの生徒は、私が指名しなければ、誰かが答えたことや、私が黒板に書いたことを書きうつすだけで終わっていたのではないのでしょうか。少し厳しい言い方をすると、考えることから逃げて、プリントやノートを書いていたらOKと考えていたのではないのでしょうか。

授業の中で出された指示に対して、どのように解決したらいいのかを考える。与えられた情報や知識を、どのように使っていけば正解(問題解決)に近づけるのかを考える。それをどのように表現したらわかりやすくなるかを考える。こうした取り組みを、授業の中で何度も何度も経験することで、少しずつ力がついていくのだと思います。「知識」は覚えたらすぐに結果が出ますが、「考える」力は、時間をかける必要があります。さて、ご家庭ではどうでしょうか。

進路に関して、生徒たちの知識は結構偏っている場合が多いです。進路に関する情報源としては、自分の近くにいる親や先輩、親族(時には塾などの大人も)くらいでしょう。子どもたちが周りの人に話を聞く(情報を集める)中で、「この学校の、こんなところに興味がある」となればいいのですが、あまりに多くの情報を処理できず、考えることをやめてしまうことがあります。結果、「〇〇がここを受けろっていうから」という理由で進路を選択することになる。やはり、『主体的に』ではなくなってくることがあるので、これから1年をかけて、目指す高校等も含めて、お子さんと一緒に進路について考えていきましょう。そのために、いろんな情報から考える習慣をつけさせてやってください。よろしくお願いいたします。

ちなみに前回の通信で紹介した『7つの習慣』の2つ目は、『**終わりを思い描くことから始める**』です。進路選択は「終わり」ではないですが、目的と目標を明確にしていけるといいですね。



2022 年
1 月

1月の予定（2年生）

部活終了16:30 完全下校16:45(始業式前日まで)→以後部活終了16:45 完全下校17:00

		日課等	諸行事	パン	給食	掃除	部活	時 程							放
日	曜							学年	1	2	3	4	5	6	
1	土	(元旦)					×	2							
2	日						×	2							
3	月		(閉校日)				×	2							
4	火		(閉校日)				×	2							
5	水						○	2							
6	木						○	2							
7	金						○	2							
8	土						○	2							
9	日						○	2							
10	月	(成人の日)					○	2							
B	11	火	《特別》	始業式 3年実力テスト、1・2年確認テスト	○	○	×	○	2	行	数	英	理	社	国
	12	水	《特別》	PTA登校指導 PTA本部役員会議19:30～	○	○	×	×	2	○	○	○	○	学	＼
	13	木	《特別》	生徒議会・専門委員会⑨	○	○	○	○	2	○	○	○	○	○	道 生
	14	金	《特別》	英検15:00～ 三泗小中学校書写展（～18日）（放）委員長会 PTA委員会19:30～	○	○	○	○	2	○	○	○	○	○	＼
	15	土					○	2							
	16	日		神前旗（中学校）※体育館・武道場使用			○	2							
A	17	月	《平常》		○	○	○	×	2	○	○	○	○	○	総
	18	火	《平常》		○	○	○	○	2	○	○	○	○	○	○
	19	水	《平常》	卒業テスト①	○	○	○	○	2	○	○	○	○	学	＼
	20	木	《平常》	卒業テスト②	○	○	○	○	2	○	○	○	○	○	道
	21	金	《平常》	卒業テスト③ みえスタ(2年) 新入生入門講座 三泗小中美術展覧 会（～27日午後）	○	○	○	○	2	国スタ	数スタ	理スタ	学	＼	＼
	22	土					○	2							
	23	日		四日市人権・同和教育研究会 課題別学習会			○	2							
B	24	月	《特別》		○	○	○	×	2	○	○	○	○	○	＼
	25	火	《平常》		○	○	○	○	2	○	○	○	○	○	○
	26	水	《平常》	暁3入試	○	○	○	○	2	○	○	○	○	◎	学
	27	木	《平常》		○	○	○	○	2	○	○	○	○	○	道
	28	金	《平常》	琴の授業（2年）	○	○	○	○	2	○	○	○	○	○	総
	29	土					○	2							
	30	日					○	2							
A	31	月	《平常》		○	○	○	×	2	○	○	○	○	○	総

○：通常時間割。◎：学年内時間割。行：学校行事。生：生徒会行事。